



12月15日(火)、めぐみ学園、こひつじ学園合同のクリスマス会が行われました。礼拝では、「クリスマス」についてのスライドやお話、聖歌隊による賛美歌、トーンチャイム演奏を通して、クリスマスの喜びを実感できる一時となりました。その後の会食では、美味しいクリスマスのご馳走を頂き、サンタクロースも登場して、とても嬉しい時間となりました。

今年も神戸女学院の方々の特別なお心遣いによって、子ども達に素敵なクリスマスプレゼントが贈られています。本当にありがとうございました。

クリスマス、そして新年を迎えた今、 新型コロナ禍から学びあいましょう。

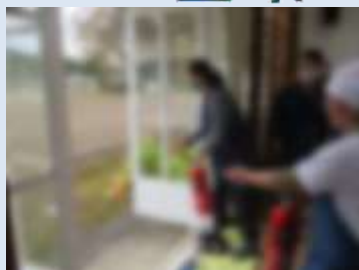
園長 山下勝弘

2020年のクリスマス、そして2021年の新年は、新型コロナ禍のただなかで迎えました。今も感染予防対策を最優先した生活が求められ、これまでの通常の日常生活が制限され、大きな不安に包まれた毎日が続いています。このような学園での生活状態の中で、強く思い出すことがあります。それは原発事故による放射能被害が発生した直後の生活です。

あの時も現在と同じように、生活内容が制限され、望んでいる生活をする事ができませんでした。生活が制限されることは同じですが、新型コロナ感染の特徴は自分の生活態度が、直接共に生活している周囲の人たちに影響を与える事実です。しかもその影響は、場合によっては生命の危険を伴う深刻な影響をあたえてしまうのです。

今回の新型コロナ禍は、わたしたちに共に生活する社会で、何を大切にする生き方、生活態度が重要なのかを教えてください。2021年の学園生活の中で、わたしたちは「自分を大切にする事は、他の人を大切にする事」という

合同防災訓練



10月26日、白河めぐみ学園、白河こひつじ学園、児童発達支援センターまきびとが合同で総合防災訓練を行いました。体育館にて消防隊の方のお話を聞いたり、職員による消火器を使った消火訓練を見学する等、防災についての学びを深めることのできた充実した時間となりました。ご協力いただいた消防隊の皆さん、防災協力員の皆さん、ありがとうございました！

秋のお楽しみ会



11月19日、秋のお楽しみ会として、めぐみ学園、こひつじ学園合同での「のど自慢大会」を行ないました。今年は残念ながら、新型コロナウイルス感染拡大防止への配慮から子どもたちのみの参加となり、歌う時のみマスクを外すといった窮屈なスタイルとなりましたが、歌にダンスと皆が生き生きとパフォーマンスしてくれました。おやつには皆の大好きなドーナツにニッコリ笑顔。終始、ワクワク楽しい充実した時間となりました。

おたんじょう会



10・11・12月とそれぞれの月に誕生会を行ないました。楽しみにしていたプレゼントをもらって、皆、嬉しそうですね。お誕生日おめでとうございます！



苦情解決委員会

子どもたちの生活や環境、職員の対応などについての苦情を受け付け、解決に取り組みます。お気軽にご相談ください。

また、牧人会の苦情解決第三者委員会も設置されています。苦情受付箱「みんなのこえ」への投書や受付窓口などに直接相談するほか、第三者委員に相談することもできます。

